

岡山県に移動環境学習車を贈り、こどもたちの環境に対する意識を高める運動

山陽新聞山陽会

創刊130周年記念事業の一環 環境について体験学習を可能とした 特別仕様車「さんよう号」を寄贈

- 実施期間
2007年6月～
- 実施地域
岡山県
- 活動概要

山陽新聞山陽会では、創刊130周年記念地域貢献事業の一環として、将来を担う子どもたちに環境に対する意識を高めてもらうことを目的として、2007年3月、体験しながら環境学習ができる移動環境学習車「さんよう号」を岡山市に寄贈した。

さんよう号は、同年6月から山陽会加盟の販売所で、購読料の一部を積み立てて発注した1.5トンの特別仕様車で、太陽光発電システムや自転車による人力発電機、生物の映像を拡大表示できるサイエンススコープなどの自然観察や環境調査ができる設備を搭載している。

これまでに県内各地の環境イベントに計40回にのぼり無料で出動している。週末を中心に利用申し込みが相次ぎ、すでに2011年1月まで予約が入っている。

*

山陽新聞山陽会＝山陽新聞系統の200販売所で組織。三宅清司（みやけ・せいじ）会長。

岡山県環境政策課作成の「さんよう号」貸し出し案内

移動環境学習車の規格

- ・全長503cm、全幅193cm、全高278cm
- ・1.5tトラック（ガソリンエンジン、AT車）
- ・アルミ製車体ボディ（内装電装が備わったアダプト車）
- ・乗車定員3名
- ※普通自動車免許で運転できます。

配置場所

岡山県環境政策センター
〒710-0298 岡山市南区739-1
TEL 086-298-2081 FAX 086-298-2088

利用形態

- ・環境学習出張講座
移動環境学習車で県内各地の学校や子供会などへ出向き、環境学習講座を行います。
- ・貸し出し
NPOや自治会などが自らの活動に使用する場合は、企業などの関係等で使用する場合には移動環境学習車を貸し出します。

※利用申請に関しては、下記のとおりお問合せ先にお知らせください。

移動環境学習車に関するお問い合わせ先

岡山県生活環境政策課
〒700-6570 岡山市南区7-9-4
TEL 086-220-7298 FAX 086-231-4094
課ホームページ 岡山県環境政策

移動環境学習車
さんよう号

見て触って体験して、環境問題を楽しく学ぼう！

移動環境学習車とは

エネルギー学習、自然観察、環境調査体験など様々な環境学習プログラムを実施するための環境学習教材や測定機器等を搭載した特別仕様車です。

この車は、岡山県環境政策センター（岡山市内尾）に配備し、学校、地域団体、NPO、市町村などの団体に広く活用していただきます。

エネルギー学習

車に搭載した太陽光発電システムや自転車による人力発電機、生物の映像を拡大表示できるサイエンススコープなどの自然観察や環境調査ができる設備を搭載している。

移動環境学習車を活用した体験学習の例

マルメロ栽培体験やOJ作りなどを使った身近な場所の環境調査や、自然観察の体験など、環境問題についての理解を深めます。

環境調査体験

マルメロ栽培体験やOJ作りなどを使った身近な場所の環境調査や、自然観察の体験など、環境問題についての理解を深めます。

自然観察

身近な山や川によって生物を観察したり、サイエンススコープや大型モニターを使って生物の生態や自然環境の大切さを学習します。

設備名	数量	備注
大型モニター	1	映像表示、音声出力
太陽光発電システム	1	電力供給
人力発電機	1	電力供給
サイエンススコープ	1	生物の映像拡大表示
自然観察用顕微鏡	1	生物の観察
環境学習教材	1	環境学習の教材
測定機器	1	環境調査の機器
その他	1	その他

移動環境学習車

岡山県に寄贈

山陽新聞社、山陽新聞販売所では、創刊130周年記念の地域貢献事業として、移動環境学習車「さんよう号」を岡山県に贈った。同車は、山陽新聞社の「さんよう号」を岡山県に贈った。同車は、山陽新聞社の「さんよう号」を岡山県に贈った。

山陽新聞社、山陽新聞販売所では、創刊130周年記念の地域貢献事業として、移動環境学習車「さんよう号」を岡山県に贈った。同車は、山陽新聞社の「さんよう号」を岡山県に贈った。同車は、山陽新聞社の「さんよう号」を岡山県に贈った。

山陽新聞 2009年3月18日付朝刊

運動をPRするポスターとのぼり

**創刊130周年
地域貢献キャンペーン**

**子供たちのために
移動環境学習車を岡山県に贈る運動**

**運動を盛り上げ
愛読者を増やそう！**

山陽新聞 山陽会

山陽新聞創刊130周年地域貢献キャンペーン

**子供たちのために
移動環境学習車を岡山県に贈る運動**

山陽新聞販売所

「さんよう号」の活用の様子

環境問題

子供たちが移動環境学習車「さんよう号」で環境問題について学習している様子。

太陽焦熱炉

子供たちが移動環境学習車「さんよう号」で太陽焦熱炉について学習している様子。



移動環境学習車「さんよう号」

太陽熱調理、人力発電 体験できるよ

山陽新聞山陽会（山陽新聞販売所）が、創刊130周年記念の地域貢献事業として岡山県に贈った移動環境学習車「さんよう号」。5月24日まで開かれた全国都市緑化おかやまフェアの会期中、主会場（岡山市東区西大寺南）で注目を集めた。環境月間の6月からは県内各地の出前講座などで活用される。子どもから大人までが環境について学ぶことができるさんよう号は、2007年6月から山陽会が読者の購読料の一部を積み立て、ネットヨク岡山（岡山市南区泉田）が製作した1.5tの特別仕様車。太陽熱を利用して調理ができる大型太陽焦熱炉をは

山陽新聞 2009年5月31日付朝刊

環境学習に人気

「さんよう号」一般貸し出し1年

多彩な装備 小学校や催し出動

山陽新聞販売所

山陽新聞 2010年6月12日付朝刊

無料点字新聞(日刊)の発行

中国新聞中国会連合会 中国新聞販売センター

朝刊コラムの点訳サービス 社会的意義のある取り組み

●実施期間

1999年12月1日～

●実施地域

広島、山口県内(一部県外)の盲学校・個人など

●活動概要

中国新聞中国会連合会と中国新聞販売センターでは、1999年12月1日から、目の不自由な人が中国新聞のコラムを読んで、日々の事柄を感じてもらうことを願い、毎週月曜日から土曜日まで年間300日以上の特設サービスを実施している。

朝刊コラム「天風録」の文字データをパソコンで処理し、専用プリンターで印刷後、各販売所を通じて、広島県立広島中央特別支援学校(旧盲学校)、点字図書館、福山市視聴覚障害支援センターなどの施設や広島県・山口県の個人宅など、50か所に無料で届けている。

10年にわたる社会的に意義のある取り組みに対し、社団法人広島県身体障害者団体連合会から感謝状が贈られた。

*

中国新聞中国会連合会＝中国新聞系統の350販売所で組織。杉田政彦(すぎた・まさひこ)会長。

■点訳活動の表彰記事

中国新聞中国会連合会に感謝状が贈られた広島県身体障害者福祉大会

記事点訳に力 中国会を表彰

三原で広島県身障者大会

広島県身体障害者福祉大会が五日、三原市の市芸術文化センター「ボボロ」であった。目の不自由な人向けに中国新聞記事の点訳活動を続ける中国新聞中国会連合会(杉田政彦会長)に感謝状が贈られた。

中国新聞の販売所でつくる同連合会は一九九九年十二月から、朝刊のコラム「天風録」を点訳し、盲学校や希望する個人に無料で届けている。大会では他の四団体も感謝状を受けた。主催した県身体障害者団体連合会の鎌川拓也会長が「長年の活動に感謝の意を表します」などと述べた。

大会には障害者団体の代表者約八百人が出席。自立支援策の充実などを求める大会決議を採択した。

(金井淳一郎)

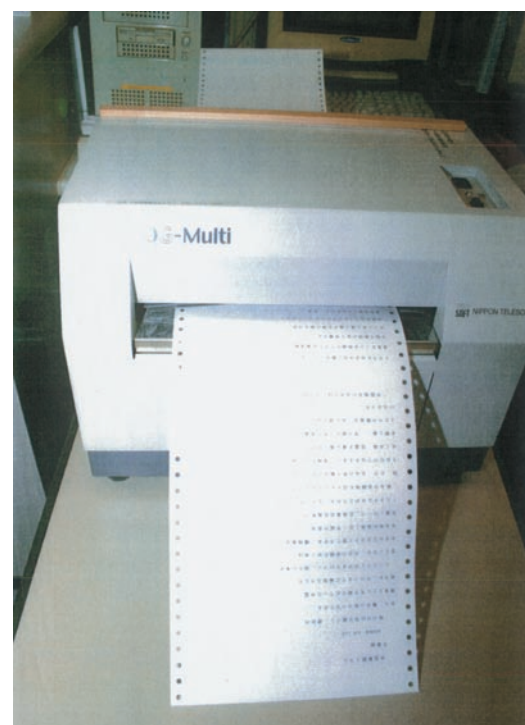
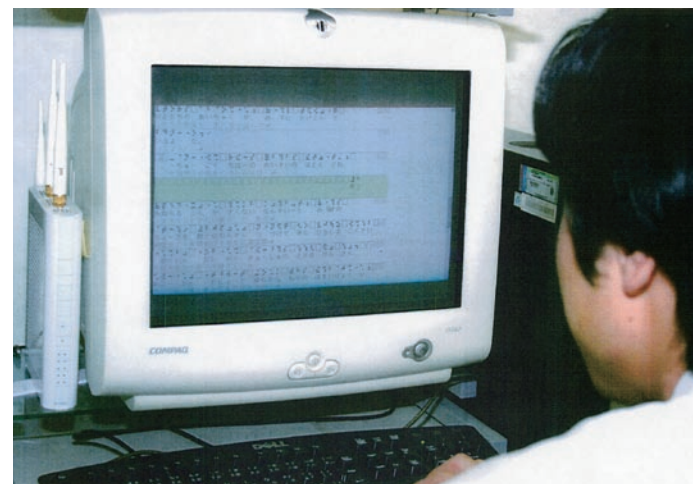
中国新聞 2008年9月6日付朝刊

■(社)広島県身体障害者団体連合会からの感謝状

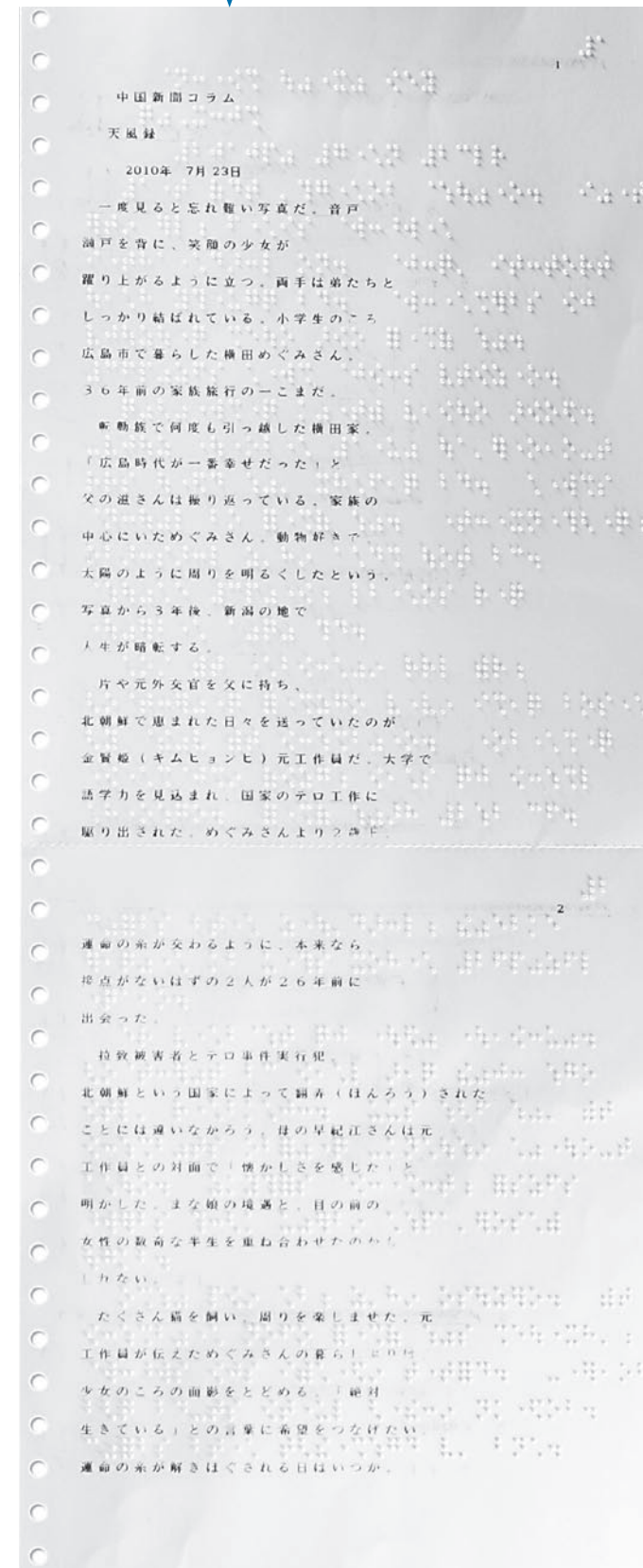
■点字新聞の制作・印刷

一度見ると忘れ難い写真だ。音戸の少女が躍り上がるように立つ。両手は弟たちとしっかり結ばれている。小学生のころ広島市で暮らした横田めぐみさん。36年前の家族旅行の一場面。広島時代が一番幸せだったと父のめぐみさんは振り返っている。家族の中心にいためぐみさん。動物好きで、太陽のように周りを明るくしたという。写真から3年後、新潟の地で人生が暗転する。父と元外交官を父に持ち、北朝鮮で生まれた日々を送っていたのが金賢姫(キムヒョンヒ)元工作員だ。大学で語学力を見込まれ、国家のテロ工作に振り出された。めぐみさんより2歳上。運命の糸が交わるように、本来なら接点がないはずの2人が26年前に出会った。拉致被害者とテロ事件実行犯。北朝鮮という国家によって翻弄(はんろう)された。母の早紀江さんは元工作員との対面で「懐かしさを感じた」と明かした。まな娘の境遇と、目の前の女性の数奇な半生を重ね合わせたのか。わせたのかもしれない。めぐみさん猫を飼い、周りを楽しませた。元工作員が伝えためぐみさんの暮らし。少女のころの面影をとどめる。「絶対生きていたい」と言葉に希望をつなげた。運命の糸が解きほぐされる日はいつか。

中国新聞 2010年7月23日付朝刊



点字専用プリンタで印刷



点字新聞

古紙リサイクルで子供たちに図書を!!

徳島新聞販売店会

地域住民の協力を得て実施した
古紙回収の収益金により
学校図書室へ図書を寄贈

●実施期間

2008年5月～

(古紙回収は2003年6月から実施)

● 実施地域

徳島県

◎活動概要

徳島新聞販売店の15専売所では、地域住民の協力を得ながら古紙回収の収益金で子どもたちの図書購入に役立てる取り組みを実施している。経費削減により学校図書室で最新の本が購入できなくなっていることを知り、まず藍園専売所が2008年5月から始め、その後各地の販売所に広がった。

販売所では、古紙回収業者の手配や告知チラシの作成と折り込み、未読者への手配りを引き受け、当日は地域住民が自宅から持ってきた古紙などを回収し、業者が引き取っている。

15 専売所合計で回収した資源ゴミは165.64トンで、収益金152万6,647円分の図書書を18の幼稚園・小学校・中学校に寄贈している。

取り組みは、系統会内の販売所でも実施に向けての検討が進み、活動の広がりを見せている。

✻

徳島新聞販売店会＝徳島新聞系統の111販売所のうち、藍園（あいぞの）、藍住北（あいずみきた）、勝瑞（しょうずい）、富田・牟岐（むぎ）、南浜、大津、北島、北島南、北島西、松茂、高志、大山、松島、北小松島（きたこまつしま）の15専売所。

■回収を呼びかける チラシと実施後の お礼チラシ

古紙回収キャンペーン

牟岐町のみなさま、 ご協力をお願いします。

今、お読みの新聞(古新聞・チラシ)を回収して



→

年岐町子どもたちのために
まっさらな本を!!

資源として活用し、その収益を子どもたちの図書購入に役立てています。

4月11日(日) ~ 雨天決行 ~

午前7時30分～10時まで
お近くの各収集場所へお持ちよりください。

※注、お持ち寄り可能な紙は下記通りで新聞紙はお持ち込みできません。
《回収品目》古新聞・チラシ・雑誌・ダンボール

牟岐町山内小中学校PTA・東海商育会保護者会
牟岐町児童福祉協議会・牟岐町役場
事務局 0874-3657

お近くの収集場所へお持ちください。

収集場所	所在地	備考
橘コミュニティセンター	橘	
辺川農業機械消毒センター	辺川	
小松コミュニティセンター	辺川	
西又コミュニティセンター	河内	
智見コミュニティセンター	河内	
平野コミュニティセンター	河内	
河内小学校	河内	
清水文化センター	中津	
清水組合文化センター	川島元寺	建物裏庭裏道
中津中学校	中津	正門前
堤田町民会館	牟岐津島	
よしかた稲穂店	津島	
原村庄1号宅前	津島	
宮のコミュニティセンター	牟岐津島の本	
真のコミュニティセンター	津島	
古年岐小学校コミュニティセンター	津島	
牟岐小学校	中津本村	正堂玄関
杉山二丁目(緑蔭荘前)	中津山内	
二浦会館	中津山内	
関元宮文化公民館	西宮	

古紙を子どもたちの本に! ~ ~ ~

[illegible]

■藍住町古紙回収事業風景



藍住東小学校



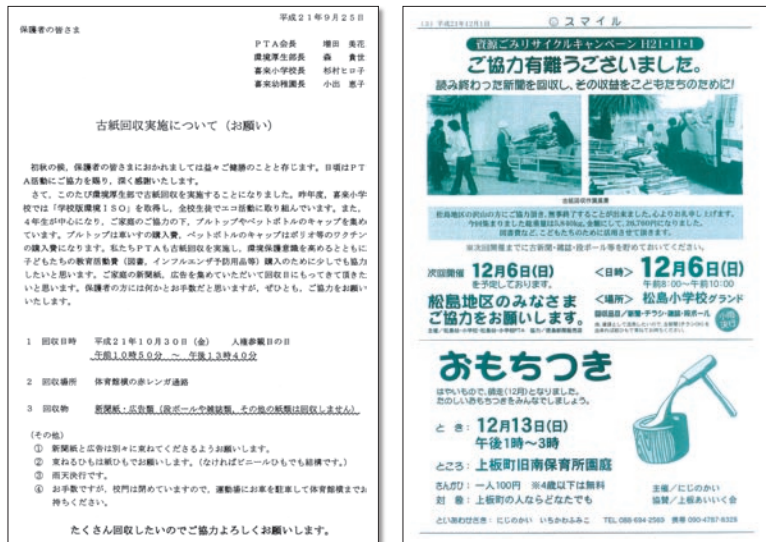
藍住西学校



藍住南小学校



藍住北小学校



北島専売所エリアの北島小学校に設置されている
「古紙回収文庫」



■回収を呼びかけるチラシと実施後のお礼チラシ

6月6日(日)資源ごみリサイクルキャンペーン

高志地区のみなさま

ご協力をお願いします。

今、お読みの新新聞
チラシ・新聞を回収しよ



図書費など
子どもたちのために



資源として活用し、その収益を
子どもたちの図書費などに
役立てたいと考えております。

資源ごみリサイクルキャンペーン H22・6・6

ご協力有難うございました。

※読み終わった新聞を回収し、
その収益を子どもたちのために！



高志地区の山民の方に協力
頂き、無事終了することが出
来ました。

心よりお礼申し上げます。

今回集まりました総重
量は7,520kg 金額
にて、35,830円
になりました。 図書費
など子どもたちのため
に活用させて頂きました。

次回開催
8月22日(日)
を予定しております。
雨天顺延 8月29日(日)
※回収は、前回同様廃食油もいたします。

主催 高志幼小・高志小・高志中 協賛 徳島新聞販売所



高志専売所エリアの高志小学校に設置されている「りさいくるぶんこ」

月刊地域紙を28年間編集・発行し、地域の歴史・文化の発掘と啓発に貢献

愛媛新聞エリアサービス今治西 所長 村上正郎

28年にわたり月刊地域紙を発行 地域の歴史・文化などを紹介

- 実施期間
1982年～
- 実施地域
いまばり
愛媛県今治地域中心
- 活動概要

愛媛新聞エリアサービス今治西の村上正郎所長は、1982年から月刊地域紙「じょいふる今治」の発行を始めた（6,000部）。当初1店舗で始めた活動は、88年には今治地区の7つ販売店共同で発行する月刊地域紙「こちらいまばり」に発展し、2万5,000部に増加している。

村上所長は、メイン執筆者として28年の長きにわたり今治地域の歴史・文化等を紹介し、地域情報発信や芸術文化の向上に尽力している。また、地域のイベント情報や人物・団体紹介のほか、音楽やラジオDJを紹介し、若者からお年寄りまで幅広い年齢層に親しまれている。

*

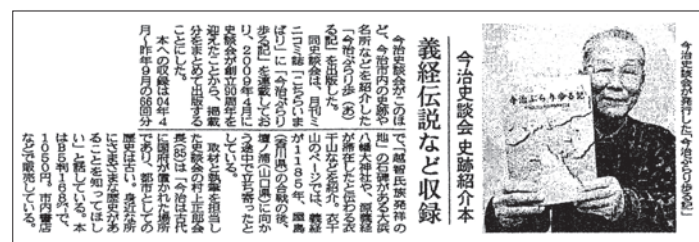
村上 正郎（むらかみ・まさお）



取材風景



勉強会



愛媛新聞 2010年1月13日付



ミニコミ紙の記事を本にまとめてほしいとの読者からの要望に応じて出版（表紙）

月刊ミニコミ「こちら いまばり」



左から1988年5月15日発行、1988年6月12日発行、2010年5月23日発行



ミニコミ誌「じょいふる今治」



左から1982年6月発行、1982年7月発行

中高生による砂漠緑化体験事業 「西日本新聞ハチドリ隊」

西日本新聞エリアセンター連合会

モンゴル自治区クブチ砂漠へ ポプラ苗木を植樹 参加者の環境問題への意識改革に寄与

●実施期間

2008年8月～

●実施地域

中華人民共和国内モンゴル自治区恩格貝ク
ブチ砂漠

●活動概要

西日本新聞社と西日本新聞エリアセンター連合会は、2008年8月から、砂漠化が進む中国の内モンゴル自治区に九州の中学・高校生でつくる「中国砂漠緑化応援隊」(愛称:西日本新聞ハチドリ隊)を派遣している。過去2回の派遣は、書類選考で選ばれた中学生11人、高校生27人、一般1人が参加、2年間でクブチ砂漠へポプラの苗木を約1,000本植樹した。参加した学生からはこの活動を通して多くのことを感じ、環境問題への意識が変わり、ボランティア精神を学ぶことができたなどの反響があった。

「ハチドリ隊」という名称は、南米アンデスに伝わる「ハチドリのしずくーいま、私にできること」の話から命名された。

*

西日本新聞エリアセンター連合会=西日本新聞系統の511販売所で組織。前田成一(まえだ・せいいち)会長。



西日本新聞
2008年
8月28日付

西日本新聞
2009年
9月9日付

■体験事業を読者にPRするパンフレット(左:表紙、右:中面・見開き)



クブチ砂漠



植樹作業



植樹作業(白体操服は
現地高校生)



現地での記念撮影



現地(恩各貝)ホテル前(上・下)



地域還元「佐賀の民話紙芝居セット贈呈」事業

佐賀新聞佐賀会

地元の民話を掘り起こし伝承 県内幼稚園・保育園に 紙芝居セットを寄贈

●実施期間

2008年9月～2011年3月

●実施地域

佐賀県内すべての幼稚園・保育園（400園）

●活動概要

佐賀新聞佐賀会は、消え行く民話を掘り起こし、地域文化の素晴らしさを伝承しようと、2008年9月から2年間、佐賀県内の幼稚園・保育園 400 園に対して、佐賀の民話を題材にした紙芝居を贈呈している。

紙芝居を通して、次世代を担う子どもたちに郷土愛を育み、活字文化の素晴らしさを知ってもらうことに一役買った活動で、絵本とはひと味違う佐賀弁で語られる紙芝居に子どもたちは引き込まれている。

*

佐賀新聞佐賀会＝佐賀新聞系統の 89 販売所で組織。
廣瀬博（ひろせ・ひろし）会長。



佐賀新聞 2008年7月5日付



佐賀新聞 2008年9月10日付



佐賀新聞 2008年9月10日付

■地域の協力で紙芝居製作

◎美術専攻の大学生が原画を担当

オリジナル紙芝居製作に「佐賀民話の会」の宮地武彦会長や佐賀大学文化教育学部の牛塚和男、荒木申両教授の指導、協力を受けました。多くの民話の中から園児にも親しみやすい4話を選出。民俗学的な考察も加えて、原作を損なわないように9コマ前後の紙芝居絵に表現しました。絵は佐賀大学美術科専攻の学生ら4人が担当し、切り絵やジオラマの技法を使って、ほのぼのとした作品に仕上がりました。



紙芝居4話とオリジナル紙芝居台



紙芝居の原画製作を依頼した佐賀大学学生ら



紙芝居の読み語りCD（左）と、園児に贈るオリジナルシール

■企画から1年かけて

◎紙芝居が出来るまで

【2006年12月】

県内全域への還元と将来の読者づくりを基本方針に事業内容の検討を始める

【2007年9月】

紙芝居セット贈呈運動を決定

【同年10月】

佐賀県私立幼稚園連合会と県保育協議会に趣旨説明と協力要請

【同年12月】

佐賀大学教養学部美術科に絵の製作協力を要請

【2008年2月】

「佐賀民話の会」の宮地武彦会長を交えて4話選出。家具産地・大川市の木工業者にオリジナル紙芝居台を発注

【同年4月】

紙芝居4話の原画決定。印刷発注する

◎贈呈運動スタート

【2008年9月9日】

伊万里市の伊万里保育園を第1号に贈呈運動がスタートした



第1号の伊万里保育園に紙芝居セットを贈呈。園児の後ろは佐賀新聞佐賀会関係者

■贈呈風景

